

## 2021(令和3)年度事業報告

2021(令和3)年4月1日から2022(令和4)年3月31日まで

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

### 1 事業実施の方針

新型コロナウイルス感染症の広がりはまだ収束の見通しが立たない状況下であったため、災害が発生した場合は、迅速に現地入りして直接支援に携わった支援の在り方が引き続き問われることになったが、現地カウンターパート等を通じて、必要に応じて現地入りし、遠隔からでもできる支援を届けるなどの支援活動を展開した。

より多様な地元ネットワークが平常時から機能することの重要性が改めて浮き彫りになる中、NPO 同士が互いの現状と課題を情報共有し、行政・社協・企業など多様なセクター間との連携で課題解決を図る「NPO おたがいさま会議」をさらに発展させる努力をした。

東日本大震災については、被災者の暮らしの再建は、まだ途上にある。特に、広域避難者支援については、昨年度と同様、引き続き愛知県被災者支援センターやふくしま支援室の活動を通じて、孤立・孤独の防止、専門家や市町村につなぐことを含め、丁寧な支援活動を継続した。宮城県七ヶ浜町の支援は、2021年3月末をもって断腸の思いで解消したが、今後も「きずな」が途切れることはなく、むしろ南海トラフ地震に備え、七ヶ浜から学ぶべきことは無限にあるため、スタディツアーを計画したが、コロナ禍で、オンライン交流となった。

平常時の活動においては、「新型コロナウイルス・避難生活お役立ちサポートブック」(発行：JVOAD。主管：RSY)をテキストとした避難所対応についての啓発を積極的に続け、感染防止対策を講じた上で、地域防災力向上のための研修等を実施したりして、with コロナ・after コロナ時代を見据えた防災啓発活動を積極的に展開した。

### 2 事務局体制

【名古屋事務局】専従職員4名、嘱託職員5名、アルバイト1名

【愛知県被災者支援センター】派遣嘱託職員1名、派遣アルバイト2名

### 3 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

被災者支援事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
緊急救援	RSY	災害現場へのスタッフ派遣、資機材送付 ■令和3年7月1日からの大雨/①物資支援/②震つなでの災害対応(富士市・沼津市への会員派遣・水害冊子送付・資機材貸し出し) ■令和3年8月の大雨/①内閣府・JVOAD 協働事業「避難生活支援・防災人材育成エコシステム」に基づく避難生活支援アドバイザーとして浦野を佐賀県に派遣。武雄市(4カ所)・大町町(2カ所)の避難所の長期化に関する環境アセスメントを実施。各自治体等に結果を報告すると共に、武雄市A避難所にて環境改善を支援/②武雄市「一般社団法人おもやい」への看護・一般ボランティア派遣(8/27~10/17まで切れ目なく)/③武雄市NPO法人「みつわ」の在宅避難者支援拠点事業への立ち上げサポート(サロン開催サポート、あったかごはんプロジェクト、2019年台風19号水害・豊野地区「まちの縁側ぬくぬく亭」との交流企画など、3~4名派遣)/④武雄市・大町町等への物資支援/⑤震つなでの災害対応(水害冊子送付、資機材貸し出し、暖房器具支援寄付キャンペーン等) ⑥ハーゲンダッツ&ユニ共同社会貢献活動「被災地の子どもたちにおもちゃをプレゼントしよう!」282,932円分の寄付。RSYで寄付先・購入をコーディネートし、おもやいを通じて、武雄市内の子どもたちへ提供。 ■9月5日長野県茅野市土砂・浸水被害/物資・水害関連資料送付

「うるうるパック」事業	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）	資機材倉庫活用事業（3NPO・物資管理を含む） ■令和2年7月豪雨用うるうるパックを熊本県6市町村へ2,155パック発送 ■令和3年8月豪雨で被災した佐賀県大町町へ200パック発送
東日本大震災関連ネットワーク		■東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)への参画「Voice from 3.11」実行委員長・実行委員、「県外避難者支援」地域巡回員（担当県：愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）■愛知県被災者支援センター（愛知県委託事業/事務局担当）■東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごやへの参画（運営会議への参加）
県外避難者支援	RSY	愛知県被災者支援センター業務・福島県受託事業の運営、活動を通じて繋がった被災者を対象に、サロン活動など。
福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業	ふくしま連携復興センター	■福島県から岐阜・三重の2県に避難している方の帰還や定住等の生活再建に向けた相談窓口の開設。（平日10:00～18:00） ■避難先での交流会、相談会の開催：岐阜甲状腺検診会7月11日（日）岐阜みどり病院にて実施。避難者8世帯22名参加。 三重交流会3月20日（日）伊勢市生涯学習センターいせトピアにて開催。避難者3世帯3名参加。
福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業 ★福島県補助金事業	RSY	■岐阜・三重県に避難している世帯への戸別訪問：6～2月、14世帯訪問実施。内訳は要見守り世帯（母子、高齢者世帯）や新規転入世帯、FOR子ども支援応募者宅を訪問。コロナ禍での影響などを伺う。 ■福島県内 交流相談会の開催：10月23日（土）郡山市総合福祉センターで開催。愛知、岐阜、三重県避難者11世帯21名参加。
周年	RSY・各地の被災地	■東海豪雨（9月11日語り継ぐ会参加）■阪神・淡路大震災（ツアーは中止・各自で黙とう）■東日本大震災等の行事（スタッフ2名七ヶ浜町訪問、七ヶ浜・RSY オンライン交流会開催、約60名が参加）
復興支援	RSY	■被災地復興イベント支援（3月25日能登半島地震15周年穴水町記念行事の講師招へい）■被災地と被災地をつなぐ。
東日本大震災犠牲者追悼式（名古屋市内で実施）	東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや実行委員会	実行委員会に参画。3月11日。鶴舞公園普選記念壇。
WITH コロナ生活応援・がんばれ新入生・進級生！（FOR子ども支援基金）	RSY	コロナ禍対応として主に岐阜県・三重県を対象に新学期応援企画を実施（新たにつながった避難者には随時案内し、2名贈呈）。
県外避難の子どもたちの声を聴き、これからの成長を応援する事業 ★Yahoo!基金事業（2020年度から継続）	RSY	■東日本大震災で、東海3県に避難している子どもたち対象にアンケートおよびヒアリング調査。■子どもたちの声を集めた冊子（2000部）および啓発ポスター作成とフォーラム実施：9月23日（木）51名参加
コロナ禍緊急対応「NPOおたがいさま会議」 ★年賀寄付金配分事業	RSY	■コロナ禍でもできることを探すため、NPOと多様な支援セクターとをつなぐ「NPOおたがいさま会議」を毎週火曜日に開催。80回目まで実施。会議の受け皿として、県・市・社協の協力も得て、コア会議を毎週本会議後に開催。■人材・物資のマッチング

### 調査研究・出版事業

事業名	主体・協働先	事業内容
大学連携	名古屋大学	名古屋大学減災連携研究センター社会連携推進会議委員、（福和先生最終講義に際し、お花を贈呈）
大学連携	名古屋工業大学	高度防災工学センターとの連携事業（8月11日公開セミナー講師）、NPO法人達人塾ネットへの参画など

人材交流・ネットワーク推進事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
会員寄附拡大	RSY	賛助会員、寄附者拡大施策 (Give one, モノドネ, Give2Asia)。ボランティアの拡大も含む
RSY ボランティア DAY	RSY	<p>■ボランティア活動していただいた実績</p> <p>7月4日/大口町倉庫/11名/うるうるパック化作業  7月21日/大口町倉庫/6名/うるうるパック化作業  7月22日/大口町倉庫/6名/うるうるパック化作業  7月27日/大口町倉庫/3名/うるうるパック化作業  7月28日/大口町倉庫/7名/うるうるパック化作業  7月29日/大口町倉庫/5名/うるうるパック化作業  7月30日/大口町倉庫/3名/うるうるパック化作業</p> <p>11月13日/イオン新瑞橋店/6名/あそぼうさいブース運営  11月14日/イオン新瑞橋店/6名/あそぼうさいブース運営  11月17日/大口町倉庫/3名/倉庫整理  1月1日/熱田神宮/15名/元旦募金</p>
名古屋ネット	名古屋市など	<p>■なごや災害ボランティア連絡会/なごや防災ボラネット参画</p> <p>■三者合同研修企画参画</p> <p>■名東倉庫資機材分散管理。顔の見える関係づくりのための倉庫見学会・イベントを10月9日実施。参加者50名</p> <p>■中央共募・資機材ネットワーク助成事業に参画(採択)</p> <p>■名古屋市職員研修受入3名</p>
愛知県ネット	愛知県など	<p>■愛知県防災会議・同幹事会出席</p> <p>■防災のための愛知県ボランティア連絡会・定例会議、愛知県災害支援のためのボランティア等情報共有会議(3月16日第1回開催、代表幹事・幹事会事務局)</p> <p>■あいち防災協働社会推進協議会定例会出席</p> <p>■愛知県防災啓発施設WG・人材育成サブWG(あいち・なごや強靱化共創センター)</p> <p>■防災人材交流シンポジウムつなぎ舎参画11月14日</p>
岐阜県ネット	岐阜県など	<p>■岐阜県災害ボランティア連絡会・岐阜県災害ボランティア連絡調整会議出席</p> <p>・岐阜県災害ボランティア支援協議会(座長)・避難所及び在宅避難者支援ボランティア検討会出席</p> <p>■清流の国ぎふ防災・減災センターコーディネータ委嘱・コーディネータ会議・げんさい楽座への参画</p> <p>■岐阜県防災リーダー育成研修講師等</p>
東海圏ネット	静岡県ボランティア協会など	静岡県上訓練等委員会参加
全国ネット	全国のNPO・NGO・社協・企業など	<p>■東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)代表世話人</p> <p>■災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)委員(JVOADとして幹事)</p> <p>■震災がつなぐ全国ネットワーク(震つな)事務局担当・代表・事業担当</p> <p>■認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)代表理事・運営委員・避難生活改善に関わる専門委員会担当</p>
復興庁コーディネート事業	JCN	3.11の今がわかる会議、ユースダイアログ運営事業支援
中日サバイバルキャンプ	中日新聞事業部	監修と運営協力。10月23日プレ企画は八事日赤。10月30-31日名城公園で実施
あそぼうさいまなぼうさい	RSY	子ども・家族連れ向け防災イベントを大型SCや公園で開催。ギャラリエアピタ知立店でのあそぼうさいは、コロナの感染拡大防止の判断基準を下回らず、今年度は断念。★コロナで中止 11月13、14日にイオン新瑞橋店で開催。13日51名、14日83名参加
海でつながるプロジェクト2021	蒲郡市	蒲郡市のボートレース場で行われる近隣住民向け家族防災イベントの防災コーナーを担当。 ★コロナで中止

社会見学・学生インタビュー、インターン受け入れ	RSY	中学生の社会見学、高校生インターン、大学生インターン受け入れ(派遣斡旋:アスクネット、ドットジェーピー等)
<b>養成講座・研修事業</b>		
<b>事業名</b>	<b>主体・協働先</b>	<b>事業内容</b>
みずから守るプログラム	愛知県	<p>■市町村自治会からの依頼により避難行動訓練や手作りハザードマップの作成などを受託し、伴奏支援する</p> <p>安城市小川町:大雨行動訓練実施、6月6日 安城市藤野町:ハザードマップまちあるき、8月21日。 マップ確認、11月7日。 安城市東端町:ハザードマップまちあるき、8月22日。 マップ確認1月15日。 安城市桜井西町:ハザードマップまちあるき、8月28日 マップ確認、9月25日。 安城市鹿乗町:ハザードマップまちあるき、9月18日。 マップ確認、11月6日。 安城市城山町内会:ハザードマップまちあるき、10月17日。 マップ確認、11月21日 川谷市一里山町内会:ハザードマップまちあるき、11月20日。 マップ確認、2月20日。 安城市三ツ川町内会で大雨行動訓練、12月12日。</p>
災害ボランティア支援職員スキルアップ研修	岐阜県	災害ボランティアセンターの運営業務をサポートする「災害ボランティア支援職員」養成講座運営。6月16日実施。1月25日、2月7日実施。
中学校防災講演会	大府市	市内中学校4校を対象とした講演会10月28日・11月11・12・18日実施。
中学生への防災学習	名古屋市南区	中学校3校と対象とした講演会およびワークショップ。大江中学校(11月11日)、桜田中学校(11月12日)、本城中学校(3月16日)
防災ネットきずこう会支援	高浜市	<p>■防災リーダー養成講座(基礎編)7月17日実施。(避難所編)7月31日実施。(フォローアップ編)8月7日実施。(外国人防災学習会)3月12日実施(33名参加)。</p> <p>★みんなで考える避難所づくり→コロナで中止</p>
災害ボランティアコーディネーター養成講座	瀬戸市	災害ボランティアに関わる講演会、WS ★コロナで、動画作成に変更。
地区防災計画策定支援モデル事業	安城市	3地区をモデルに、各1回1.5~2時間・計4回のWSを実施 (①小川町内会:7月17日、10月2日、11月20日、12月19日②藤野町内会:7月18日、10月2日、11月20日、12月11日③東端町内会:7月18日、10月3日、11月21日、12月26日)。3地区の地区防災計画と住民周知用チラシ作成
減災まちづくり研究会運営支援	安城市	減災まちづくり研究会の企画・運営、運営委員会①7月27日・②9月16日・③11月15日・④2月3日、研究会①8月18日・②10月20日・③12月15日・④3月17日(成果報告会)、減災まちフェスタ3月13日(デンパーク)
各務原市防災ひとづくり講座	岐阜県各務原市	地域の防災リーダーの養成。★本年度はコロナのため、①地域防災②避難所③災害ボランティアをテーマに3つの講演動画を作成
瑞穂市防災リーダー研修会	岐阜県瑞穂市	市内防災士等を対象にした避難所運営リーダーの養成と受講者による組織づくり①1月15日・②1月23日
災害VC養成講座	岐阜県瑞穂市社協	市民を対象にした災害ボランティアコーディネーター養成講座。①3月20日・②3月26日
災害VC養成・フォローアップ講座	名古屋市	災害ボランティアコーディネーター養成講座。33期9月26日、10月3、10日実施。34期2月5、6、11日実施。フォローアップ講座11月23日実施。

福祉施設 BCP 作成	日本福祉協議機構	福祉施設 BCP 作成のための職員向け講演会・モデル施設での訓練の実施。コアメンバーとなる防災チームの BCP 作成スキル向上のためのサポート（前年度より継続）
名古屋 Shake Out	名古屋 Shake Out 実行委員会	周辺の産官学民の有志が集い、Shake Out 防災訓練を実施。オンライン事前勉強会 8 月 20 日実施。訓練各自オフィス等で実施 9 月 10 日 ★コロナで集会は中止
違いを共に生きる・ライフデザイン	愛知淑徳大学	講師受託（講演録画作成）
災害時活動支援論・災害時活動支援演習	愛知淑徳大学	災害時も平常時も、困っている人を見つけ、自分にできることを考え、周囲と協働しながら解決のために行動に移せる意欲と具体的な方法を身に着けるためのオンデマンドおよびオンライン授業を実施（15 コマ：5 月 14 日・21 日・28 日・6 月 4 日・11 日・18 日・25 日・7 月 1 日オンデマンド）／演習（15 コマ：8 月 18 日～20 日集中講義・オンライン）
FAA 学生防災ボランティア事業	仁愛大学	学生ボランティアの推進を図る福井県補助事業で 3 コマ担当。①10 月 15 日・講義「災害現場の実態を知ろう」②11 月 10 日・演習「地域住民と災害ハザードをともに学ぼう」③12 月 5 日（日）演習「当該地域において要支援者の避難をサポートしよう」
<b>広報関連事業</b>		
<b>事業名</b>	<b>主体・連携先</b>	<b>事業内容</b>
あるある（機関紙）	RSY	年 5 回発行。ボランティアによる「編集会議」実施（週一回）。会員、その他関係機関などを対象に約 600 部。
東日本被災者支援の 10 年の記録誌発行	RSY	企業・団体・ボランティア等の協力により行ってきた、宮城県七ヶ浜町や県外避難者等への被災者復興支援の 10 年の取り組みを掲載した冊子を発行
Web	RSY	ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信
<b>各種委員会・検討会等</b>		
<b>依頼元</b>	<b>内容</b>	
内閣府等	<b>■防災教育チャレンジプラン実行委員会</b> ■「多様な主体間における連携・協働による『避難生活支援・防災人材育成エコシステム』構築の具体化に向けた検討会」座長・同研修カリキュラム検討チーム（JVOAD として栗田・RSY として浦野） <b>■官民連携検討会</b> （JVOAD として栗田）	
愛知県	<b>■防災のための愛知県ボランティア連絡会</b> （栗田・浜田）・愛知県災害支援のためのボランティア等情報共有会議（同） <b>■愛知県防災対策有識者懇談会</b> （栗田） <b>■あいち防災協働社会推進委員会</b> （栗田） <b>■愛知県防災会議</b> （栗田）・同幹事会（浜田） <b>■愛知県防災人材のあり方検討会</b> （栗田） <b>■愛知県みずから守るプログラム有識者会議委員</b> （栗田）	
岐阜県	<b>■清流の国ぎふ 防災・減災センターコーディネータ</b> （栗田） <b>■岐阜県災害ボランティア連絡会・岐阜県災害ボランティア連絡調整会議</b> ・岐阜県災害ボランティア支援協議会、岐阜県災害ボランティア総括コーディネータ（栗田） <b>■関市災害ボランティア連絡調整会議</b> （浦野）	
名古屋市	<b>■なごや災害ボランティア連絡会</b> （栗田・浜田） <b>■地域福祉に関する懇談会</b> （栗田） <b>■交通問題調査会委員</b> （浜田） <b>■名古屋市地域強靱化計画の見直しに関する有識者懇談会</b> （浦野）	
全国社会福祉協議会	<b>■災害福祉支援活動の強化に向けた検討会</b> （JVOAD として栗田）	
岐阜県美濃加茂市	みのかも定住自立圏第 3 次共生ビジョン懇談会委員（栗田）	
名古屋市みどりの協会	戸田川賢人会委員（浦野）	
愛知県社協	市町村社協災害対応支援部会（浜田）	
中央共同募金会	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議委員（浦野）・幹事（JVOAD として栗田）	
静岡県ボランティア協会	南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会（浦野）	
日本災害復興学会	理事（浦野）	

非常勤講師		
依頼元	内容	
至学館大学	人間力形成VI（災害・救援系）（栗田）	
岐阜大学	防災リーダー育成講座（栗田）	
愛知淑徳大学	地域文化1（日本）（栗田）	
愛知医科大学	災害看護学（栗田・浦野）	
被災地スタディツアー事業		
事業名	主体・連絡先	事業内容
スタディツアー	RSY	1. 17 阪神・淡路大震災（※開催見送り）、311 東日本大震災（※オンライン企画に切り替え実施）など

#### 収益活動に係る事業

事業名	事業内容
印刷代	輪転機・コピー機の有料使用
書籍販売	冊子「避難所運営の知恵袋・改訂版」
物品販売	耐震DVD/防災紙芝居の販売。
防災用品の開発・販売	防災グッズ（じしんだゾウさんてぬぐい、紙ぶるる等）

#### 会議の開催に関する事項

会議名	日程	時間	場所	議題
総会				
通常総会	6月26日	15:00～16:00	RSY 事務所	① 2020(令和2)年度事業報告の承認 ② 2020(令和2)年度決算報告の承認 ③ 2021(令和3)年度事業計画の議決 ④ 2021(令和3)年度予算の議決 ⑤ 役員の変更について
理事会				
第1回理事会	6月11日	19:00～21:00	久屋事務所	① 2020(令和2)年度事業報告案・決算案 ② 2021(令和3)年度事業計画案・予算案
第2回理事会	9月17日	19:00～21:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 各理事からの近況報告
第3回理事会	12月17日	19:00～21:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 各理事からの近況報告
第4回理事会	2022年 3月18日	19:00～21:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 賞与・人事について
評議員会				
第1回評議員会	2022年 2月18日	19:00～20:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 評議員各位よりご意見・ご助言

# 令和3年度 決算書

(令和3年4月1日より令和4年3月31日まで)

- (1) 貸借対照表
- (2) 活動計算書
- (3) 財務諸表の注記
- (4) 財産目録

名古屋市東区泉1丁目13-34 名建協2階

特定非営利活動法人 レスキューストックヤード

2021(令和3)年度 活動計算書

2021(令和3)年4月1日から2022(令和4)年3月31日まで

(単位:円)

科目	特定非営利活動	その他事業	合計
<b>I 経常収入の部</b>			
1 受取会費			
正会員	1,140,000		1,140,000
賛助会員	1,615,000		1,615,000
2 受取寄付金			
寄付金収入	6,023,765		6,023,765
3 受取助成金等			
助成金収入	19,821,826		19,821,826
4 事業収益			
被災者支援事業	22,495,409		22,495,409
講演会事業	5,445,460		5,445,460
調査研究・出版事業	2,818,200		2,818,200
人材交流・ネット事業	6,968,953		6,968,953
広報関連事業	0		0
養成講座・研修事業	17,099,344		17,099,344
相談・助言・提言事業	1,736,970		1,736,970
スタディツアー事業	0		0
5 その他収益			
物販収入		751,704	751,704
雑収入	295,433		295,433
受取利息	578		578
経常収益合計	85,460,938	751,704	86,212,642
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
被災者支援事業	23,423,854		23,423,854
講演会事業	3,620,920		3,620,920
調査研究・出版事業	1,148,677		1,148,677
人材交流・ネット事業	6,657,375		6,657,375
広報関連事業	1,176,730		1,176,730
養成講座・研修事業	6,800,302		6,800,302
相談・助言・提言事業	1,427,112		1,427,112
スタディツアー事業	0		0
助成金事業	17,113,920		17,113,920
物販仕入		131,469	131,469
事業費計	61,368,890	131,469	61,500,359
2 管理費			
(1)人件費			
給与手当	2,230,942		2,230,942
雑給	1,526,693		1,526,693
法定福利費	1,649,048		1,649,048
福利厚生費	101,154		101,154
人件費計	5,507,837	0	5,507,837

(2)その他経費			
研修費	0		0
消耗品費	693,479		693,479
賃借料	2,777,659		2,777,659
旅費交通費	959,412		959,412
通信運搬費	1,138,637		1,138,637
水道光熱費	394,757		394,757
印刷製本費	0		0
保険料	276,039		276,039
修繕費	0		0
減価償却費	1,123,545		1,123,545
租税公課	3,393,732		3,393,732
会議費	54,500		54,500
雑費	2,772,809		2,772,809
その他経費計	13,584,569	0	13,584,569
管理費計	19,092,406	0	19,092,406
経常費用計	80,461,296	131,469	80,592,765
当期経常増減額	4,999,642	620,235	5,619,877
Ⅲ 経常外収益			
固定資産売却益	304,418		304,418
経常外収益計	304,418		304,418
経理区分振替額	620,235	△ 620,235	0
当期正味財産増減額	5,924,295	0	5,924,295
前期繰越正味財産額			86,467,897
次期繰越正味財産額			92,392,192

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

(2021(令和3)年度決算案)

## 貸借対照表

2022(令和4)年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	31,392,749		
貯蔵品	1,750,139		
未収金	22,550,376		
立替金	52,240		
前払費用	89,675		
流動資産合計		55,835,179	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
車輛運搬具	2,881,020		
什器備品	2		
有形固定資産計	2,881,022		
(2)投資その他の資産			
保証金	750,000		
長期前払費用	6,216		
リサイクル預託金	9,550		
基金積立預金	33,500,000		
基金預金/西田基金	7,161,663		
投資その他の資産計	41,427,429		
固定資産合計		44,308,451	
資産合計			100,143,630
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	80,000		
預り金	1,837,760		
未払費用	4,259,278		
未払消費税等	1,574,400		
流動負債合計		7,751,438	
負債合計			7,751,438
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		86,467,897	
当期正味財産増減額		5,924,295	
正味財産合計			92,392,192
負債及び正味財産合計			100,143,630

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日NPO法人会計基準協議会)によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法の規定に基づいて、有形固定資産は定率法で、無形固定資産は定額法で償却をしています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等は税込経理により処理しています。

2. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

内容	期首取得価額	当期取得額	当期減少額	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
設備	0	0	0	0	0	0
車輛運搬具	5,230,525	3,601,275	5,230,525	3,601,275	720,255	2,881,020
什器備品	1,391,210	0	454,400	936,810	936,808	2
投資その他の資産						
保証金	750,000	0	0	750,000	0	750,000
リサイクル預託金	25,580	9,550	25,580	9,550	0	9,550
合計	7,397,315	3,610,825	5,710,505	5,297,635	1,657,063	3,640,572

3. 基金の増減内訳

(単位:円)

内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
投資その他の資産				
基金積立預金	32,000,000	1,500,000	0	33,500,000
合計	32,000,000	1,500,000	0	33,500,000

4. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は 92,392,192円ですが、そのうち 7,161,663円は西田基金事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は、85,230,529円です。

(単位:円)

内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	備考
西田基金事業	7,342,005	62	180,404	7,161,663	故・西田敏子さんの遺言により寄付された被災者のための基金
合計	7,342,005	62	180,404	7,161,663	

# 2021(令和3年度) 財産目録

令和 4年 3月31日 現在  
 特定非営利活動法人レスキューストックヤード  
 (単位 円)

科 目 ・ 摘 要	金 額	金 額	金 額
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	1,952,868		
預貯金			
普通預金	21,289,414		
三菱UFJ銀行 本山支店	72,521		
三菱UFJ銀行 本山支店	4,693,752		
三菱UFJ銀行 大津町支店	0		
三菱UFJ銀行 大津町支店	1,719,194		
三菱UFJ銀行 大津町支店	318,169		
三井住友銀行 名古屋支店	472,390		
振替貯金	874,441		
㈱ゆうちょ銀行	1,750,139		
ブックレット他	22,550,376		
貯蔵品	52,240		
未収金	89,675		
立替金			
前払費用			
自賠責保険料前払い分他			
流動資産合計		55,835,179	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
車輜運搬具	2,881,020		
ハイエース			
備品	2		
アルミコンテナ他			
有形固定資産計	2,881,022		
(2)投資その他の資産			
保証金	750,000		
鈴木興業(㈱倉庫保証金)			
長期前払費用	6,216		
自賠責保険料前払い分			
リサイクル預託金	9,550		
車輜リサイクル預託金			
基金預金	32,000,000		
㈱ゆうちょ銀行			
基金預金	1,500,000		
三菱UFJ銀行 本山支店			
基金預金/西田基金	7,161,663		
三菱UFJ銀行 大津町支店			
投資その他の資産計	41,427,429		
固定資産合計		44,308,451	
資産合計			100,143,630
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	80,000		
2022年度以降会費			
預り金	1,837,760		
源泉所得税等3月分、住民税3月分他			
未払費用	4,259,278		
社会保険料他			
未払消費税等	1,574,400		
2021年度確定分			
流動負債合計		7,751,438	
負債合計			7,751,438
正味財産			92,392,192